

株式会社ヒガシホールディングス (旧会社名 株式会社ヒガシトゥエンティワン)

2025.3月期 連結決算説明資料

東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード<9029>



ヒガシホールディングス
HIGASHI HOLDINGS CO.,LTD.

01 2025年3月期 連結決算概要 [P.2](#)

02 2026年3月期 連結業績予想 [P.8](#)

03 中期経営計画2028の策定 [P.10](#)

04 トピックス [P.13](#)

01 2025年3月期 連結決算概要 P.2

02 2026年3月期 連結業績予想 P.8

03 中期経営計画2028の策定 P.10

04 トピックス P.13

2025年3月期は、売上高**481.2**億円、経常利益**29.3**億円と共に**過去最高**を更新

1株当たりの配当金については、2024年3月期の36円から**6**円積み増しし、**42**円を予定

- 売上高は、**新規開設した大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)**(※1)に加え、大手EC向け輸送業務の拡大や、大手インフラ会社向け資材販売業務の拡大、2024年10月より**(株)ネオコンピタンス(※2)**の新規連結を開始したこと等により、増収
- 経常利益は、(株)ネオコンピタンスの株式取得に伴う取得関連費用や、大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)の開設に伴う初期投資費用、新たに受注した大手EC向けドリンク事業の大規模拡張移転に伴う、ロジスティクスセンター再編のための移設費用を吸収し、上記売上高に記載の業容拡大や、大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)の本格稼働等により、増益

※LC:ロジスティクスセンターの略

(※1)P. 15<トピックス>参照

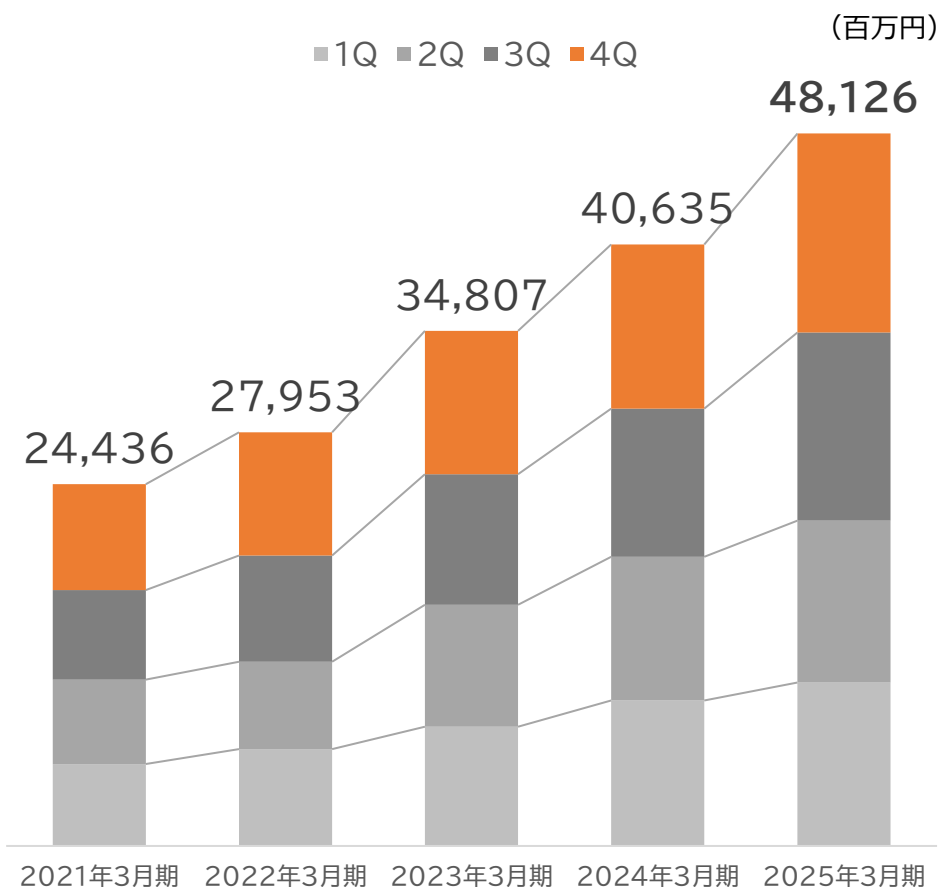
(※2)P. 14<トピックス>参照 (百万円)

2024年3月期		
実績		
	実績	全体に占める割合(%)
売上高	40,635	--
売上総利益	7,777	19.1%
販売費および一般管理費	5,587	13.7%
営業利益	2,190	5.4%
経常利益	2,309	5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,506	3.7%
1株当たりの配当金(円)	36.00	--

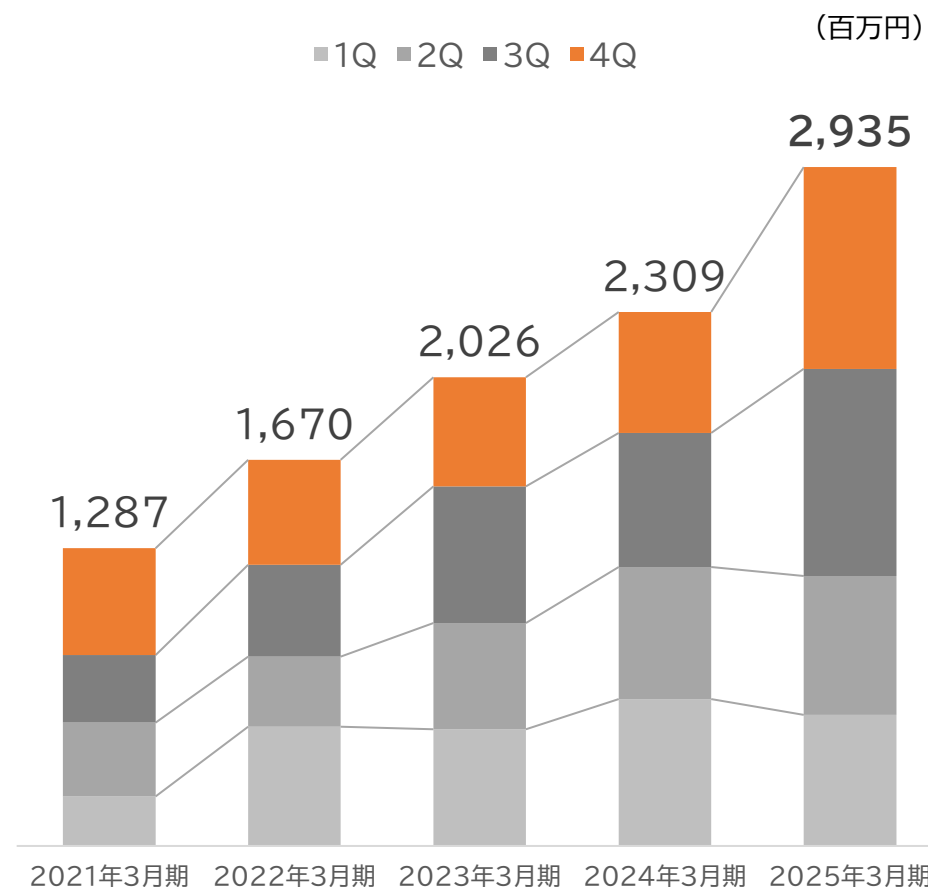
2025年3月期					
実績					
実績	全体に占める割合(%)	通期業績予想	通期予想に対する達成率	2024年3月期との差	
48,126	--	42,500	113.2%	7,490	18.4%
9,025	18.8%	--	--	1,248	16.1%
6,286	13.1%	--	--	698	12.5%
2,739	5.7%	2,450	111.8%	549	25.1%
2,935	6.1%	2,600	112.9%	625	27.1%
1,805	3.8%	1,640	110.1%	299	19.9%
42.00	--	38.00	--	6.00	--

- 2022年3月期は大手インフラ会社向け資材販売の開始、2023年3月期は山神社、旅人社の買収、2024年3月期は大手EC向け流山LCの開設、2025年3月期は大手EC向け神戸西LC稼働、川西LC開設やネオコンピタンス社の買収等により、4期連続で過去最高売上高を更新。経常利益については8期連続で過去最高を更新。

売上高



経常利益



- 運送事業 ⇒ 大手EC向け配送業務の拡大、新紙幣対応による精密機器の配送・設置業務の増加や、大口得意先からのカタログ発送業務の受注等により、増収増益
- 倉庫事業 ⇒ 前年度に開設した大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)が本格稼働したことにより、大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)の開設に伴う初期投資費用を吸収し、増収増益
- 商品販売事業 ⇒ 大手インフラ会社向け資材販売の取扱物量が増加したこと等により、増収増益
- ウエルフェア事業 ⇒ 福祉用具の新規貸出しが増加したこと等により、増収増益
- その他事業 ⇒ 2024年10月より(株)ネオコンピタンスの新規連結を開始したこと等により、増収増益

(百万円)

	2024年3月期		2025年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	40,635	--	48,126	--	7,490	18.4%
運送事業	22,911	56.4%	25,481	52.9%	2,569	11.2%
倉庫事業	10,693	26.3%	14,040	29.2%	3,347	31.3%
商品販売事業	4,435	10.9%	5,061	10.5%	625	14.1%
ウエルフェア事業	1,066	2.6%	1,140	2.4%	74	7.0%
その他事業	1,527	3.8%	2,401	5.0%	873	57.2%
	実績	利益率	実績	利益率	前年同期比	
					増減額	増減率
					増減額	増減率
セグメント利益	4,345	10.7%	5,157	10.7%	812	18.7%
運送事業	2,800	12.2%	3,138	12.3%	338	12.1%
倉庫事業	854	8.0%	1,176	8.4%	321	37.6%
商品販売事業	225	5.1%	307	6.1%	81	36.2%
ウエルフェア事業	159	14.9%	181	15.9%	21	13.7%
その他事業	304	19.9%	354	14.8%	49	16.4%

- オフィスサービス事業 ⇒前年に受注した大型移転案件の反動等により、上期では減収となったものの、下期から回復基調となり、通期では増収
- 3PL事業 ⇒大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)の開設、前年度に開設した大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)の本格稼働や、大手インフラ会社向け資材販売の取扱物量が増加したこと等により、増収
- ITサービス事業 ⇒前年のキッティング大型案件特需の反動等により、上期では減収となったものの、下期から回復基調となり、通期では増収
- ビルデリバリー事業 ⇒既存ビルデリバリー拠点に入居するテナント企業との取引増加や、災害対策品販売のスポット案件の受注等により、増収
- 基幹事業 ⇒大手EC向け輸送業務の拡大や、新紙幣対応による精密機器の配送・設置業務の増加や、2024年10月より㈱ネオコンピタンスの新規連結を開始したこと等により、増収

(百万円)

	2024年3月期		2025年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	40,635	--	48,126	--	7,490	18.4%
オフィスサービス事業	6,547	16.1%	6,954	14.4%	407	6.2%
3PL事業	10,743	26.4%	14,621	30.4%	3,877	36.1%
ITサービス事業	3,563	8.8%	3,703	7.7%	139	3.9%
ビルデリバリー事業	2,008	5.0%	2,265	4.7%	257	12.8%
介護サービス事業	1,066	2.6%	1,140	2.4%	74	7.0%
基幹事業	16,705	41.1%	19,440	40.4%	2,734	16.4%

- 新倉庫建設や、業容拡大に伴う総資産の増加により、「自己資本比率42.8%」に減少したものの、
資本効率「ROE14.0%」を実現

(百万円)

貸借対照表・経営指標

	24/3期	25/3期
資産合計	25,535	31,596
(流動資産)	11,737	14,017
(固定資産)	13,797	17,579
負債合計	13,223	18,087
(流動負債)	8,517	12,320
(固定負債)	4,706	5,766
純資産合計	12,311	13,509
(経営指標)		
自己資本比率 ※1	48.2%	42.8%
ROE(自己資本当期純利益率)	13.0%	14.0%
営業利益率	5.4%	5.7%

キャッシュフロー計算書

	24/3期	25/3期
営業活動によるCF	3,026	2,367
投資活動によるCF ※2	△3,270	△4,533
財務活動によるCF ※3	818	2,750
現金及び現金同等物の期末残高	4,062	4,647

※1 25/3期自己資本比率は、主に小牧ロジスティクスセンター建設に伴う固定資産の増加や、業容拡大に伴う売上債権の増加等による総資産増加により、低下しておりますが、純資産額が増加していることから、財務健全性に問題はないと判断しております。

※2 25/3期投資CFは、小牧ロジスティクスセンターの建設に伴う建設費用の支払いや、神戸西ロジスティクスセンターの開設に伴うマテハン設備等の投資費用、㈱ネオコンピタンスのグループ化に伴う株式取得費用等により、投資活動による支出が増加いたしました。

※3 25/3期財務CFは、事業拡大に伴う活動資金の調達や、小牧ロジスティクスセンターの建設費用の調達等により、財務活動による収入が増加いたしました。

01 2025年3月期 連結決算概要 P.2

02 2026年3月期 連結業績予想 P.8

03 中期経営計画2028の策定 P.10

04 トピックス P.13

中期経営計画2028の初年度として、売上高**510**億円、経常利益**31**億円とともに**過去最高**を見込む

※中期経営計画2028については、P.11に記載

- 売上高は、2024年8月に開設した川西LCや**2025年2月に開設した小牧LC (※)**の本格稼働に加え、2024年10月より新規連結を開始した㈱ネオコンピタンスの連結期間の通年化や、大手EC向け配送業務の拡大を予定しており、増収見込み
- 経常利益は、前年度に引き続き、幅広い事業での成長に向けた車両・設備・人材への投資が予定されているものの、上記の増収や、大手EC向け大型3PLセンターの物流効率向上等への取組みを通じた収益性向上により、増益見込み
- 1株当たりの配当金についても、2025年3月期より4円積み増しし、過去最高額となる46円を予定

(※)P. 16<トピックス>参照 (百万円)

	2025年3月期 実績	
	実績	利益率
売上高	48,126	--
営業利益	2,739	5.7%
経常利益	2,935	6.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,805	3.8%
1株当たりの 当期純利益(円)	136.77	—
1株当たりの 配当金(円)	42.00	—



2026年3月期 予想			
実績	利益率	2025年3月期実績との差	
		増減額	増減率
51,000	--	+2,873	+6.0%
2,956	5.8%	+216	+7.9%
3,100	6.1%	+164	+5.6%
2,000	3.9%	+194	+10.8%
153.10	—	—	—
46.00	—	—	—

01 2025年3月期 連結決算概要 P.2

02 2026年3月期 連結業績予想 P.8

03 中期経営計画2028の策定 P.10

04 トピックス P.13

2025年3月期で中期経営計画2026の目標数値(売上高450億円、経常利益28億円)を**超過達成**したことから、
中期経営計画2026を**1年前倒しで終了し、新たに中期経営計画2028を策定**

※中期経営計画2028の詳細については、「新中期経営計画策定のお知らせ(2025年5月9日付)」にてリリース済み

- 本計画では、2026年3月期からの3か年を「プライム市場昇格へ向けたファンダメンタルズを完成させる3年」と位置付け、プライム市場昇格という新たなステージを目指し、物流事業者として「物流の安定供給への貢献」「責任ある企業経営の実践」の達成を目指す
- 最終年度となる2028年3月期は、売上高550億円、経常利益35億円を掲げる

<経営目標数値>

	2025年3月期 実績	2026年3月期 中計2026目標	2026年3月期 今回予想	2028年3月期 中計2028目標
売上高	481億円	450億円	510億円	550億円
経常利益	29億円	28億円	31億円	35億円
1株当たり配当金	42円00銭	40円00銭	46円00銭	57円00銭
ROE	14.0%	8%以上	8%以上	8%以上
配当性向	30.7%	30%以上	30.1%	30%以上
従業員数	1,603名	1,700名	1,700名	1,800名

- 中期経営計画2028で掲げている「連結配当性向30%以上」を基準とし、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針

1株当たり配当金・配当性向の推移



01 2025年3月期 連結決算概要 P.2

02 2026年3月期 連結業績予想 P.8

03 中期経営計画2028の策定 P.10

04 トピックス P.13

- 2024年6月14日(金)に(株)ネオコンピタンス(直近の売上高:2,013百万円)のグループ会社化を発表
- 埼玉県を中心とした拠点ネットワークを構築しており、「近隣在住の派遣スタッフにとっての利便性」と「物流事業を営む派遣先顧客の人材確保ニーズ」の両方を満たす人材派遣事業が強み



- ・ 当社グループ会社や当社取引先などへの人材派遣、派遣スタッフの安定就労先拡大による事業拡大

グループ化によるシナジー効果



- ・ 当社グループが首都圏エリアで展開する3PL事業、オフィスサービス事業、ビルデリバリー事業等での安定的な人材の確保が可能

■ 神戸西ロジスティクスセンター

- ⇒ 主要幹線道路に接続しやすく、関西・中四国方面への広域配送拠点として優れた立地
- ⇒ 交通利便性を活かし、関西圏での大手EC向け3PL事業の拡大を目指す

開設時期	2024年3月
所在地	〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1丁目26
アクセス	山陽自動車道「神戸西IC」から約1.5km
構造・規模	鉄骨造、地上4階建て
延床面積	約54,700㎡(約16,500坪)



■ 川西ロジスティクスセンター

- ⇒ 当社グループ史上最大規模となる約21,800坪の延床面積を有する
- ⇒ 神戸・京都方面へのアクセスも良好で、近畿エリアの物流拠点として優れた立地
- ⇒ 広大な延床面積を活かし、関西圏での大手EC向け3PL事業の拡大を目指す

開設時期	2024年8月
所在地	〒666-0156 兵庫県川西市石道門田1番1
アクセス	新名神高速道路「川西IC」から約800m
構造・規模	鉄筋コンクリート造ならびに一部鉄骨造、地上4階建て
延床面積	約72,200㎡(約21,800坪)



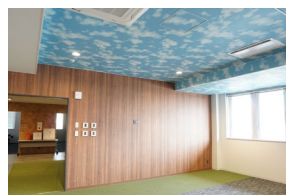
■ 小牧ロジスティクスセンター

当社は、愛知県小牧市に「小牧ロジスティクスセンター」を竣工いたしました。

当センターは名古屋高速11号小牧線「小牧南IC」まで約1km、名神高速・東名高速の起終点である「小牧IC」まで約4kmの立地で、中部エリアの基幹拠点として関東・関西エリアへの広域配送ニーズにも対応できる施設です。

建屋は天井クレーンを設置し、重量物・鋼材保管なども含めた多様な品目に柔軟に対応できる設備を備えております。

<外観・内観>



<地図>



竣工	2025年2月
所在地	愛知県小牧市小木南2丁目1-1
アクセス	名古屋高速道路「小牧南IC」約1km 名神高速道路「小牧IC」約4km
構造・規模	準耐火耐震構造、地上2階建て(倉庫部分2層、事務所)
延床面積	約16,900㎡(約5,100坪)

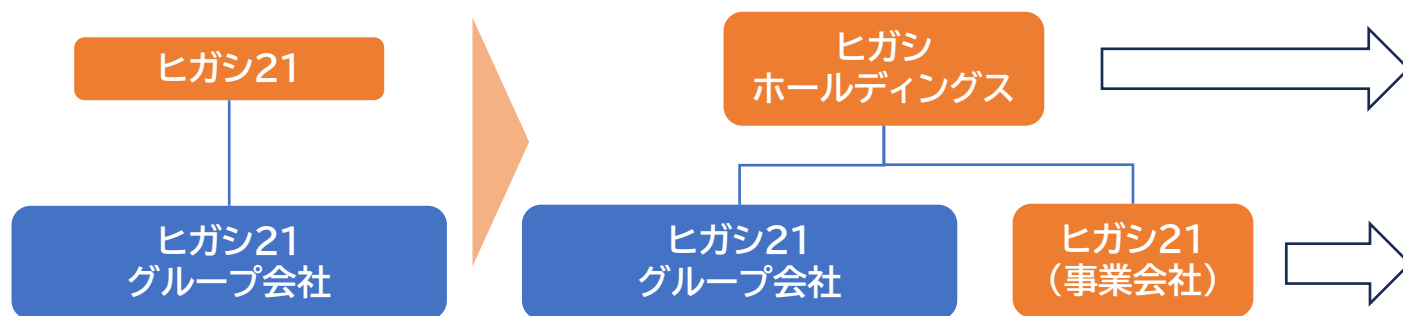
「~~株~~ヒガシトゥエンティワン」は2025年4月1日に商号を「~~株~~ヒガシホールディングス」に変更。

持株会社への移行の背景

働き方改革関連法に伴う2024年問題、労働力人口の減少、気候変動への対応等、当社を取り巻く環境が大きく変わる中で、当社が更なる事業拡大を進め、グループガバナンスを一層強化して企業価値の向上を追求するためには、持株会社体制への移行が最適であると判断いたしました。

持株会社への移行の目的

持株会社は経営戦略の策定、資源の再配分、グループガバナンスの強化、M&A等の戦略投資を中心としたグループ経営に特化し、事業会社はそれぞれの事業領域で、あらゆる経営環境の変化に迅速に対応することで、グループ全体として、柔軟かつ強靱な経営体制へと進化することを目指しております。



◆持株会社の役割

- ・経営戦略の策定
- ・経営資源の再配分
- ・グループガバナンスの強化
- ・M&A等の戦略投資

◆事業会社の役割

- ・事業中核会社として~~株~~ヒガシ21を設立し、全ての事業部を~~株~~ヒガシ21へ移管
- ・事業領域であらゆる経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制への進化を目指す

※詳細につきましては、2024年10月25日公表の、

「持株会社体制への移行に伴う吸収分割契約締結および 定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/> その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

